



第35回全国街路事業コンクール

国土交通大臣賞

阪神電鉄本線鳴尾駅付近 連続立体交差事業

兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所

事業概要

本事業は、阪神電鉄本線鳴尾・武庫川女子大前駅付近において、延長約1.9km区間の鉄道高架化による6箇所の踏切除却及び周辺道路の整備を行ったものである。本事業により、平面交差で阻害されていた地域の安全で円滑な交通を確保するとともに、「地域と共生するまちづくり」として多くの人々が集まる新たな拠点づくりの推進に大きな役割を果たしている。

表彰理由

密集市街地である大都市の鉄道連続高架化、都市計画道路や側道の整備により、都市の安全性、利便性、円滑性が格段に向上しており、特に地域と連携した事業として画期的な試みがなされている点が高く評価された。高架下空間には、近隣の大学と連携し、日本初となる本格的な大学施設を取り入れたほか、健康維持・増進ゾーンの整備などを通じ、地域及び地元住民、利用者に配慮した新たなまちづくりが試みられている。これにより連続立体交差事業が市街地を分断することなく、地域になじむヒューマンスケールのデザインとなっており、新たな都市の拠点づくりに大きく貢献する優れた事業である。

事業延長：約1.9km
事業費：約297億円
事業期間：平成12年度～平成30年度